



2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月28日

上場会社名 株式会社フィードフォース 上場取引所 東
 コード番号 7068 URL https://www.feedforce.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田 耕司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 西山 真吾 TEL 03 (5846) 7016
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	1,145	—	399	—	315	—	305	—	138	—
2020年5月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 168百万円 (—%) 2020年5月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	5.73	5.49
2020年5月期第2四半期	—	—

(注) 1. 2020年5月期第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2020年5月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

3. 当社は、2020年12月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	5,728	2,042	35.4
2020年5月期	5,219	1,829	18.3

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 2,030百万円 2020年5月期 957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—
2021年5月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,376	55.7	816	67.4	644	55.0	627	69.0	358	119.8	14.58

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

3. 当社は、2020年12月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年5月期2Q	25,873,600株	2020年5月期	23,530,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年5月期2Q	－株	2020年5月期	－株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年5月期2Q	24,203,178株	2020年5月期2Q	－株
------------	-------------	------------	----

（注）1. 2020年5月期第2四半期会計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

2. 当社は、2020年12月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化しているなか、国内においては、緊急事態宣言の解除後は個人の消費に持ち直しの動きが見られるものの、景気は依然として厳しい状況にあり、先行き不透明な状況が続きました。当社の主要な事業領域であるインターネット広告市場は、利用者の増加や端末の普及に加え、企業等の活動におけるインターネットの利用増加により急速に拡大を続けてまいりましたが、特に2020年4月以降、新型コロナウイルス感染拡大による広告出稿の変動などの影響が及んでいます。

このような経済状況のもと、当社では、「『働く』を豊かにする。～B2B領域でイノベーションを起こし続ける～」をミッションに掲げ、情報流通の最適化と効果的な広告運用サービス等を提供してきました。データフィード構築のために当社がこれまでに蓄積した膨大な商品・案件等のデータとその変換・更新ノウハウをもとに、企業が持つ情報を最適な形に加工し、ターゲットユーザーに対して適切な情報を適切なタイミングで適切なデバイスに提供することを実現してまいりました。また、当社は各デジタルプラットフォームと良好なリレーションを構築しており、その関係を活かし当社の複数のサービスを連携させることで、企業の顧客開拓支援にとどまらずユーザーとの継続的な関係強化に資する包括的な支援に努めてまいりました。営業面においては、人員数及び組織的な管理体制の両面で強化を行い、新規取引先の開拓等の事業展開に対する販売促進活動に注力してまいりました。

この結果、当社グループ（当社及び当社の関係会社）の当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,145,902千円、EBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）399,206千円、営業利益315,589千円、経常利益305,777千円、親会社株主に帰属する四半期純利益138,692千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(プロフェッショナルサービス事業)

エンタープライズを中心とした顧客に対して、プラットフォーム等への広告運用受託サービス「Feedmatic」、個々のニーズに応じたデータフィードの構築サービス「DF PLUS」、サテライトサイトを生成・自動運用するSEO支援サービス「Contents Feeder」を提供しております。また、子会社のアナグラム株式会社の業績もプロフェッショナルサービス事業のセグメント業績に含めております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部の業界における広告出稿額の減少が見られましたが、アナグラムの新規案件の獲得が堅調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高862,120千円、セグメント利益268,387千円となりました。

(SaaS事業)

ECサイトの商品情報を元に自動で最適化した広告を出稿することができる広告配信サービス「EC Booster」、データフィードの作成、管理及び最適化を広告担当者自身で行うことができるデータフィード統合管理サービス「dfplus.io」、並びにSNS登録情報を利用したWebの会員登録・ログインやダイレクトメッセージ送信による顧客リーチのサポートサービス「ソーシャルPLUS」を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、主にdfplus.ioとソーシャルPLUSにおける新規顧客の獲得及び各サービスの売上単価の増加により、順調に売上を積み上げました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高283,781千円、セグメント利益63,153千円となりました。

(DX事業)

当社は、「テクノロジーを使ったデジタルアセット活用の基盤づくり」を通じて企業のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を支援する新サービスの展開を予定しております。2020年10月14日に、事業者のデジタル活用支援、Eコマース支援を手掛ける子会社「株式会社リワイア」（当社出資比率2020年11月30日時点では90.9%、2020年12月28日時点で82.0%）を設立いたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、主に新事業の開発に係る支出を研究開発費として計上したほか、子会社設立による関連経費の支出により、セグメント損失15,952千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,728,431千円となり、前連結会計年度末に比べ509,354千円増加いたしました。

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産合計は、4,113,012千円となり、前連結会計年度末に比べ584,731千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が479,003千円、売掛金が154,021千円それぞれ増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末の固定資産合計は、1,615,418千円となり、前連結会計年度末に比べ75,376千円減少いたしました。これは主に顧客関連資産が54,700千円、のれんが23,567千円それぞれ減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債合計は、1,764,321千円となり、前連結会計年度末に比べ394,144千円増加いたしました。これは主に短期借入金が140,000千円減少した一方、買掛金が511,616千円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末の固定負債合計は、1,921,393千円となり、前連結会計年度末に比べ97,578千円減少いたしました。これは主に長期借入金が85,000千円、繰延税金負債が12,578千円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,042,716千円となり、前連結会計年度末に比べ212,788千円増加いたしました。これは主に非支配株主持分が870,908千円減少した一方、資本金が15,778千円、資本剰余金が918,422千円、利益剰余金が138,692千円増加したことによるものであります。

（3）キャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ479,003千円増加し、2,662,798千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、678,347千円の収入となりました。これは主に、売上債権が154,021千円増加し、法人税等の支払額144,796千円があった一方、税金等調整前四半期純利益の計上305,777千円及び減価償却費の計上60,049千円があり、仕入債務が511,616千円増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,540千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7,550千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、191,804千円の支出となりました。これは主に、株式の発行による収入31,556千円があった一方、短期借入金の減少140,000千円、長期借入金の返済による支出85,000千円があったことによるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは新型コロナウイルス感染拡大の影響について、2020年6月30日の「2020年5月期 決算短信」においては「上半期は新型コロナウイルス感染拡大の影響による市場環境の悪化を背景として需要低迷が続き、下半期に例年の水準に戻る」と仮定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症が再拡大している地域がある現状に鑑み、当第2四半期連結会計期間末時点では「下半期においても新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動停滞は続く」と仮定を変更しております。

そのような状況ではあるものの、当社グループの下半期においては、企業活動におけるデジタル投資拡大の流れから上半期を上回る成長を想定しており、2021年5月期通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、現在の当社グループの連結業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を可能な限り織り込んだものとなりますが、今後の市場動向は不透明な状況です。今後の動向に応じて見通しに変更となる場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,183,794	2,662,798
売掛金	932,296	1,086,318
前渡金	332,650	349,375
その他	85,168	22,920
貸倒引当金	△5,629	△8,399
流動資産合計	3,528,281	4,113,012
固定資産		
有形固定資産	44,445	44,709
無形固定資産		
のれん	451,712	428,145
顧客関連資産	1,048,416	993,716
無形固定資産合計	1,500,129	1,421,861
投資その他の資産	146,220	148,847
固定資産合計	1,690,795	1,615,418
資産合計	5,219,076	5,728,431
負債の部		
流動負債		
買掛金	669,524	1,181,141
短期借入金	180,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	170,000	170,000
未払法人税等	156,967	166,494
賞与引当金	50,101	51,751
その他	143,582	154,934
流動負債合計	1,370,176	1,764,321
固定負債		
長期借入金	1,680,000	1,595,000
繰延税金負債	338,972	326,393
固定負債合計	2,018,972	1,921,393
負債合計	3,389,149	3,685,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	448,358	464,136
資本剰余金	438,166	1,356,589
利益剰余金	71,028	209,720
株主資本合計	957,553	2,030,445
新株予約権	-	10,804
非支配株主持分	872,374	1,465
純資産合計	1,829,927	2,042,716
負債純資産合計	5,219,076	5,728,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
売上高	1,145,902
売上原価	407,678
売上総利益	738,223
販売費及び一般管理費	422,634
営業利益	315,589
営業外収益	
受取利息	9
受取配当金	0
助成金収入	2,850
その他	1,128
営業外収益合計	3,988
営業外費用	
支払利息	7,994
持分法による投資損失	5,805
営業外費用合計	13,800
経常利益	305,777
税金等調整前四半期純利益	305,777
法人税、住民税及び事業税	158,011
法人税等調整額	△21,022
法人税等合計	136,989
四半期純利益	168,788
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,095
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,692

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	168,788
四半期包括利益	168,788
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	138,692
非支配株主に係る四半期包括利益	30,095

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	305,777
減価償却費	60,049
のれん償却額	23,567
株式報酬費用	10,804
持分法による投資損益（△は益）	5,805
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,650
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,769
受取利息及び受取配当金	△9
支払利息	7,994
売上債権の増減額（△は増加）	△154,021
仕入債務の増減額（△は減少）	511,616
未払消費税等の増減額（△は減少）	△8,376
未収消費税等の増減額（△は増加）	68,384
その他	△4,816
小計	831,196
利息及び配当金の受取額	9
利息の支払額	△8,062
法人税等の支払額	△144,796
営業活動によるキャッシュ・フロー	678,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,550
その他	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,540
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△140,000
長期借入金の返済による支出	△85,000
株式の発行による収入	31,556
非支配株主からの払込みによる収入	1,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,804
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	479,003
現金及び現金同等物の期首残高	2,183,794
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,662,798

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年9月1日付で、当社を株式交換完全親会社として、アナグラム株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間において、資本剰余金が918,422千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資本剰余金は1,356,589千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、株式会社リワイアは新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書（追加情報）において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が、概ね年内まで続くものと仮定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症が再拡大している地域がある現状に鑑み、その影響が当連結会計年度末頃まで続くものと仮定に変更しております。

なお、会計上の見積りについて、上記仮定の変更に伴う重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2020年6月1日 至 2020年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッショナルサービス事業	SaaS事業	DX事業 (注3)	計		
売上高						
外部顧客への売上高	862,120	283,781	—	1,145,902	—	1,145,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,190	—	9,190	△9,190	—
計	862,120	292,971	—	1,155,092	△9,190	1,145,902
セグメント利益又は損失 (△)	268,387	63,153	△15,952	315,589	—	315,589

(注) 1. セグメント間取引取消によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社リワイアを連結子会社としており、「DX事業」セグメントに含めております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「テクノロジーを使ったデジタルアセット活用の基盤づくり」を通じて企業のデジタル・トランスフォーメーション(DX)を支援する新サービスの開発体制を構築すると共に、同事業の立ち上げ及び業容拡大を目的として、DX事業部門を新設いたしました。

これにより、報告セグメントに「DX事業」を新設しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2020年10月16日開催の取締役会決議に基づき、2020年12月1日を効力発生日として、以下のとおり株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

株式を分割することにより、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家層の拡大と流動性の向上を目的とするものであります。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2020年11月30日を基準日とし、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を1株につき4株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	6,468,400株
今回の分割により増加する株式数	19,405,200株
株式分割後の発行済株式総数	25,873,600株
株式分割後の発行可能株式総数	78,400,000株

(3) 株式分割の日程

基準日公告日	: 2020年11月13日
基準日	: 2020年11月30日
効力発生日	: 2020年12月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響は、サマリー情報の「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」に反映しております。